



校長から宗高・宗中のみなさんへⅡ ⑥

令和2年7月10日（金）

「甚大な豪雨災害に思う」

一昨日7月6日の集中豪雨は、熊本県や福岡県南部の大牟田市や久留米市に60名を越す死者、行方不明者を出す甚大な被害をもたらしました。被災された方々にお見舞い申し上げますとともに、お亡くなりになった方々の御冥福を心よりお祈り申し上げます。

奇しくも7月6日は、朝倉市や東峰村を中心とする筑後地方に甚大な被害をもたらした九州北部豪雨から3年目の日でもありました。最近4年間、梅雨末期のこの時期に日本各地で線状降水帯もたらす激しい豪雨によって大きな災害が起こっています。また、最近東海地方や太平洋沿岸地域で頻発している地震も気になるところです。

地球上で生活している以上、自然災害は避けることができないものではありませんが、最近の豪雨や台風等もたらす災害の大きさは、私たちが今までに経験したことのない深刻なものになっています。特に7月上旬に4年連続で起こっている豪雨災害からは、日本の気候に大きな変化が起こっているのではないかとすら思われます。

こうした状況から、私たちはこうした災害の発生を想定した心構えや行動が求められていると思います。実際に発生した災害を「他人事」としてとらえるのではなく、「自分事」としてとらえていかなければならないのではないのでしょうか。高校卒業後、みなさんの多くは日本の全国各地で、あるいは世界の様々な場所で生活することになります。それは、穏やかで落ち着いたここ「宗像」の地とは全く異なる環境で生活することでもあります。だからこそ、昨今の各地での自然災害を教訓に、災害に対してどのような心構えで、どのように行動していくのかをしっかりと考えてほしいと思います。自然災害でも、新型コロナウイルスでも、

「自分（と家族）の生命は自分で守る。」

この大原則を改めて、みなさんと共に確認したいと思います。そのためにも、情報を収集し、分析し、「自分の頭で」考え、判断し、行動する習慣をつけなければなりません。

勉強することの意味の一つもこうした力を身につけることにあるのかもしれませんが！

九州地方の大雨は、この土日まで決して油断できないようです。まずは、身近なところから十分に気をつけてください！

高校では、今日で「今年度初めての」定期考査、1学期期末考査前半の2日間が終わりました。手応えはどうだったでしょうか？ 中学生は、来週月曜日からいよいよ「今年度初めての」1学期期末考査が始まります。みなさんもよくわかっている通り、高校生も中学生もこの土日の使い次第で考査の結果は大きく変わります！ わかってはいても、それが実行できるかどうかが大きく結果を左右するのです。でも、「明日からがんばろう！」は、ちょっと違います。成功のカギは、今日金曜日の午後と夜にどれだけ勉強するか、明日からの土日どれだけ勉強できるかの「今日からの3日間」トータルでの取組が問われているのです。

わかかってはいても、土日になるとつい朝寝坊をしたり、テレビやゲームをしたりしがちです。朝寝坊をしてしまうと1日のリズムは狂いますし、テレビやゲームは気がつくとき長時間費やしてしまっています。その結果、土日を100%活用することはできなくなってしまいます！ せめて、この考査中、考査前の金土日3日間だけは、いつもの時間に起きて、テレビやゲームも封印して、日ごろの勉強とは全然違う「死に物狂い!？」で勉強にがんばってみるのです。みなさんの持つ優れたポテンシャルは、「死に物狂い」でがんばることによって見事に引き出されます。

きつくても、きつさに負けず、妥協せずに「死に物狂い」でがんばった人だけが、考査が終わった時、最高の解放感と達成感を感じることができます！

最高の解放感と達成感を感じるために、今日の午後から日曜日まで3日間のみなさんのがんばりに大いに期待しています。

でも、睡眠時間だけは十分確保することと健康管理にだけはくれぐれも気をつけて！！

校長 深瀬 信也